

5 Expanding research across disciplines

研究を学際的に展開したい

第20回

「議論の十字路、百万遍」

百万遍談議

かつて百万遍周辺の喫茶店では、「読書会」と称して、違う分野の学生が集まってひとつのテーマで議論をする姿がしばしば見られました。コーヒー1杯で数時間いても店の人は気にもせず、ひたすらコップにお水をついでくれたものです。
あるいは「下宿」に集まってなされた議論は、同じ下宿の他学部の人だけでなく、他大学の学生も加わって、それこそ朝まで延々と続けられたというのが茶飯事でした。

最近ではコロナの影響もあり、学生同士の議論というものが影をひそめているように思います。加えてそもそも喫茶店自体がどんどん少なくなっています。
そこで、往時に盛んであったそんな議論の場を、「百万遍談議」として復活させようという思いから、このような企画が作られました。参加資格は、京都大学の学部学生であれば、学部や学年は問いません。

授業ではありませんので、なにかこうしなければいけないという義務はなく、単に興味があるから参加して、人の話をきき、自分の考えを述べる。それだけです。
毎回のテーマに関して、なにか知識が必要ということはありません。唯一お願いするのは、毎回提示される文章をともかく読んでくこと、それだけです。
また、「議論」はしますが、なにか結論を導こうとして話をするわけではありません。テキストを読んで思ったことを自由に話してもらえばいいわけで、もちろんその場で誰かの発言をきいて思いついたことを話しても結構です。

「人はこんなことを考えているんだ」ということを知るだけでも楽しいですし、さらには、自分の考えを人にきいてもらうことの楽しさも、大学生に与えられたある種の特権です。
気軽な気持ちで参加してください。
いろいろな人と人、人と言葉あるいは考えの出会いが生まれることを楽しみにしています。

開催日時 2024年9月26日[木]10:30–14:30

※昼食はご持参ください。

話題提供者 坂野上 なお (フィールド科学教育研究センター 講師)

テーマ 「大学の森、百年の記憶」

会場 フィールド科学教育研究センター 上賀茂試験地
(京都市北区上賀茂本山2 | 叡電京都精華大前駅下車 徒歩10分)

今回は上記のテーマについて、ともに考えてみたいと思います。
テキストは下記QRコードの申込フォームに記載のリンクからダウンロードして読んでください。

対象：京都大学学部学生(正規生)先着10名 費用：無料 使用言語：日本語

申込方法：下記URLもしくは右記QRコードよりお申し込みください
<https://www.kura.kyoto-u.ac.jp/event/20240926/>



これまでの開催記録はこちら
<https://www.kura.kyoto-u.ac.jp/support/gakusai/dangi/>



主催・お問い合わせ 京都大学学術研究展開センター (KURA) 「百万遍談議」担当 | jinsha@kura.kyoto-u.ac.jp



2024年9月26日
百万遍談議 開催報告

第20回 大学の森、百年の記憶

話題提供者

坂野上 なお フィールド科学教育研究センター 講師

参加者：4名

[内訳]

3回生2名（工学・農学）

4回生2名（法学・教育学）

談議メモ

今回は夏季休暇期間中の特別企画ということで、京都大学フィールド科学教育研究センターが保有する上賀茂試験地にて開催しました。

快晴の天気の中、午前中はフィールド研教職員による案内で上賀茂試験地を散策し、上賀茂試験地の成り立ち、試験地内の森林の植生、森林と人間の関わりなどにつき、実際に森林や樹木を見ながら説明を受けました。

午後からは談議に移り、午前中の散策の感想や、学生さん自身の「自然体験」を話し合ってもらってからスタートし、「五感を使って体験できるのが良かった」「本での知識を実際に目にすることができた」「実家の近くにも里山のようなものがあり、懐かしさを感じた」「都会で育ったので新鮮だった」といった感想が出ました。

その後話題は「里山」の過去と未来、現状と課題の話に移りました。学生さんからは「里山に関心を持ってもらうための取り組みを地道に続けることが重要」などの意見が出ました。